

# 令和2年ホヤ類調査結果速報 No. 2

令和2年8月25日

北海道立総合研究機構函館水産試験場

※この速報は函館水試HPでも見ることができます。

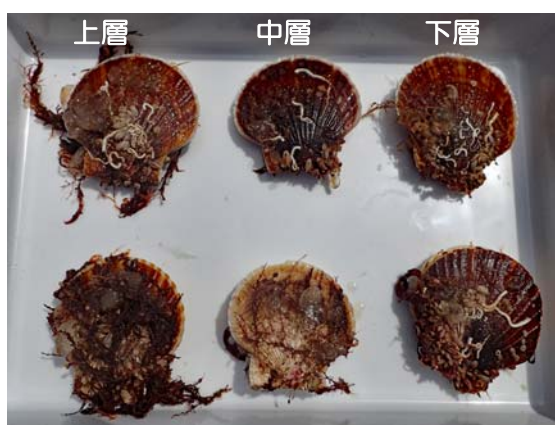
【アドレス：<http://www.hro.or.jp/list/fisheries/research/hakodate/>】

8月18日に渡島管内八雲地区において、耳吊ホタテガイ付着物の調査を行いました。

## 結果概要

- 耳吊りホタテガイ上のヨーロッパザラボヤの付着数が増加しました（図3上）。付着数はホタテガイ1枚あたり92.7個体で（表1）、過去5ヶ年の平均並です（図3上）。
- 平均サイズは5.4mmと例年よりも小さく、肉眼での識別が困難な5mm未満の個体が約6割を占めています（図1、図2）。
- 平均サイズが小さいため、付着重量はホタテガイ1枚あたり5.2gと例年より低い数値ですが、付着個体数は平年並みであることから、今後、付着重量は増加すると考えられます（表1、図3下）。例年、付着量が多い湾奥部では付着物除去作業（貝洗い）の準備を進めてください。
- 例年であれば、9月以降、新たに付着する個体が減り、付着個体数も減少に転じます（図3上）。今年は付着のピークがやや遅れている可能性もあるため、来月の調査結果を注目ください。

図1 ホタテガイに付着するヨーロッパザラボヤ 令和2年8月17日 八雲地区



問い合わせ先：函館水産試験場調査研究部 金森・夏池 TEL：0138-83-2893

※本調査および情報配信は特定非営利活動法人水産業・漁村活性化推進機構から委託された令和2年度ザラボヤ被害防止ネットワーク構築委託事業で実施しています。

# 耳吊りホタテ貝付着物調査

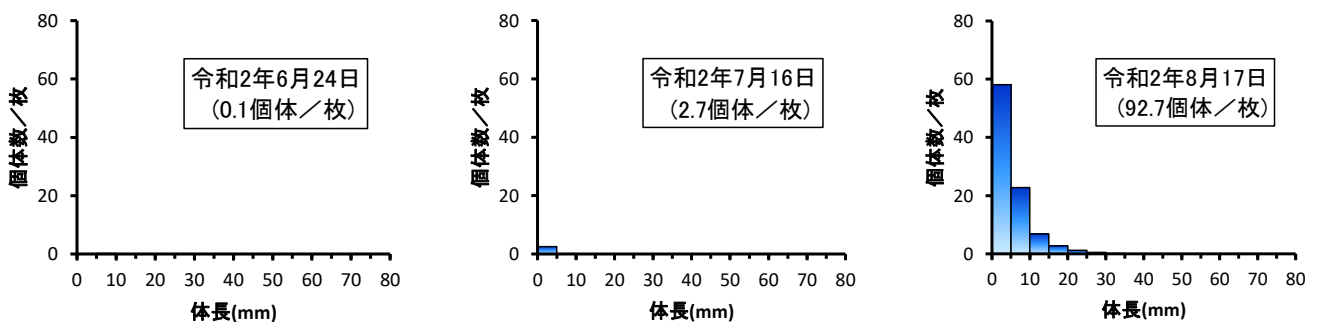
【調査月日：8月17日、調査場所：八雲沖、採取数：上中下層 各5枚】

ホタテガイを上層、中層、下層から5枚ずつ抽出し、肉眼及び実体顕微鏡を用いて、付着物を調査しました。多数のヨーロッパザラボヤの付着が確認されました（図1）。ヨーロッパザラボヤの平均付着個体数はホタテガイ1枚あたり92.7個体（過去5ヶ年平均91.0個体）、平均サイズは5.4mm（過去5ヶ年平均10.3mm）、平均付着重量はホタテガイ1枚あたり5.2g（過去5ヶ年平均27.4g）です（表1、図2）。付着個体数は平年並みである一方、平均サイズは小さく、付着重量も低い数値です。肉眼で識別が難しい5mm未満の個体の割合が約6割を占めているため、例年よりもヨーロッパザラボヤは目立っていません（図1、図2）。しかし、付着個体数自体は平年並であり、今後、付着個体の成長にともない付着重量は増加していくので注意が必要です。（図3下）。

表1 付着生物調査結果（八雲地区：令和2年8月17日）

ホタテガイ1枚あたり平均付着数量	上層	中層	下層	地区平均
全付着物重量	41.8g	19.8g	18.0g	26.5g
ヨーロッパザラボヤ	7.5g	7.1g	1.0g	5.2g
その他	34.3g	12.7g	17.6g	21.5g
ヨーロッパザラボヤ個体数	103.6個体	138.8個体	35.8個体	92.7個体
令和元年8月（R1.8.26）の個体数	103.8個体	132.6個体	96.4個体	110.9個体
平成30年8月（H30.8.19）の個体数	89.4個体	148.8個体	103.8個体	114.0個体
平成29年8月（H29.8.23）の個体数	31.8個体	59.4個体	25.6個体	38.9個体

図2 ヨーロッパザラボヤのサイズ組成（八雲地区：令和2年6～8月）



参考 昨年のヨーロッパザラボヤのサイズ組成（八雲地区：令和元年6～8月）

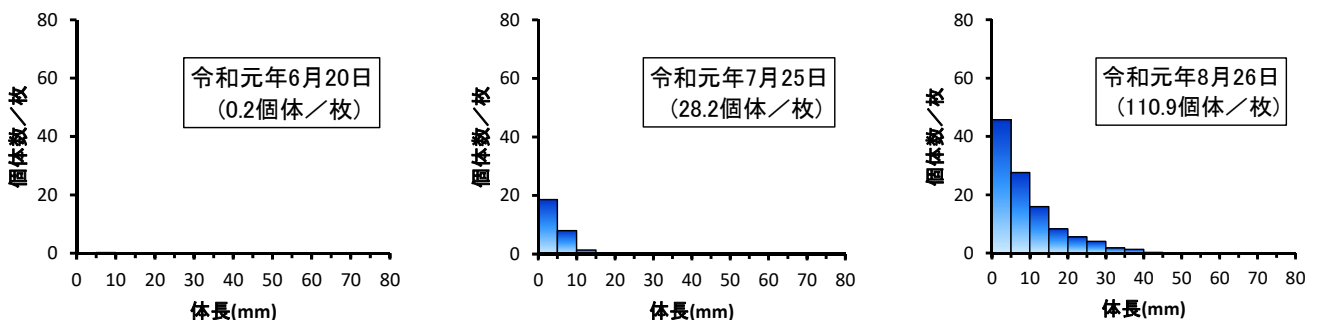
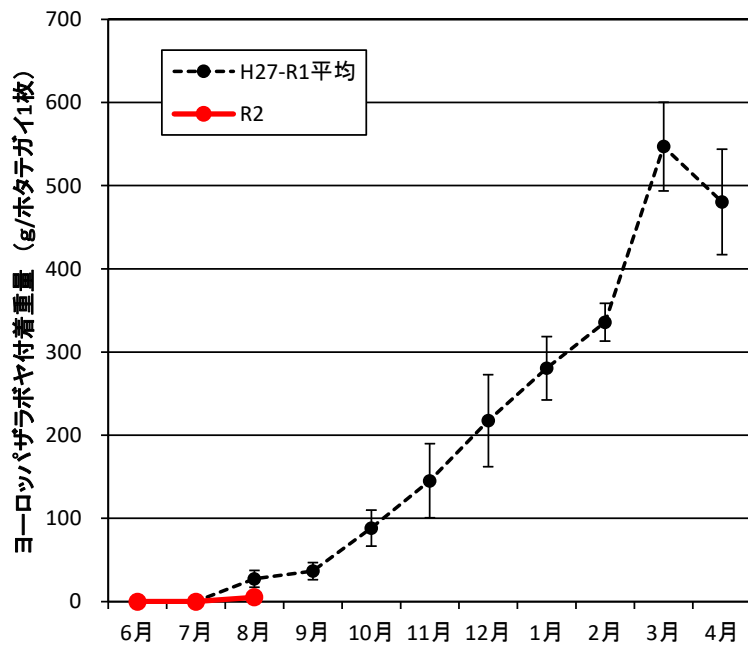
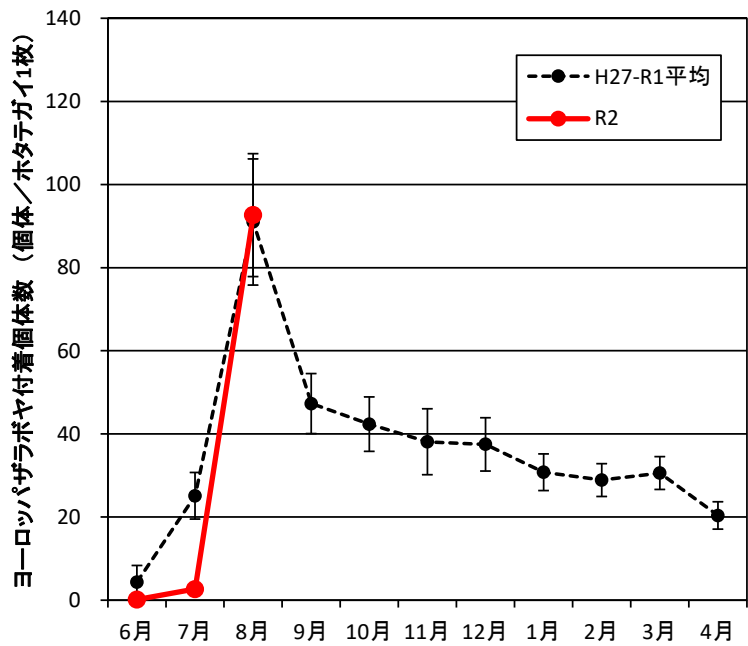


図3 ヨーロッパザラボヤの付着量（八雲地区）



上：ホタテガイ上のヨーロッパザラボヤ付着個体数の季節変化  
 下：ホタテガイ上のヨーロッパザラボヤ付着重量の季節変化  
 各月のデータは全層（上層、中層、下層）の平均値で示しています（縦棒は標準誤差）。  
 過去5ヶ年（H27～R1年）のデータでは、ヨーロッパザラボヤのホタテガイへの付着は7～8月が最も多くなっています。付着重量は10月以降、急激に増加します。